

令和5年9月15日
道路局企画課
国土技術政策総合研究所

踏切道における視覚に障害のある方の誘導対策について評価実験を実施 ～踏切道付近の誘導表示の構造等について検討を行います～

国土交通省では、令和4年6月に改定した「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」において継続検討することとした「『表面に凹凸の付いた誘導表示等』の設置の在り方」について、踏切道等における視覚障害者誘導対策ワーキング・グループ（以下「WG」という。）にて議論しております。

この度、視覚に障害のある方及びWG委員にご参加いただき、評価実験を9月21日に実施いたします。

※国土交通省では、特定道路^注上（344箇所）等の踏切道を優先的に対策を進めています。

注）バリアフリー基本構想に位置づけられた生活関連経路を構成する道路等で国土交通大臣が指定する道路

1. 日時 令和5年9月21日（木） 9：00～17：00（荒天以外、雨天決行）
（取材対応可能時刻 13：15～14：15）
2. 場所 国土技術政策総合研究所（茨城県つくば市旭1番地）
※詳細な場所等は、取材希望のご連絡をいただいた方にお知らせいたします。
3. 実施内容
・踏切道における視覚に障害のある方の誘導対策として、踏切手前部または踏切内を模した複数パターンの誘導表示等を設置し、参加者に体験いただきます。
4. 参加者 視覚に障害のある方・WG委員

※当日取材を希望される方は9月20日（水）12:00までに別紙2のとおりメールにてご連絡ください。期日までにご連絡いただいた方へ、「当日のご案内」をお送りいたします。

<問い合わせ先>

【道路の移動等円滑化に関するガイドライン・WGについて】

国土交通省 道路局 企画課 大西、福島

代表：03-5253-8111（内線 37562, 37554） 直通：03-5253-8485

【評価実験の実施について】

国土交通省 国土技術政策総合研究所 池田、池原、久保田

直通：029-864-4539

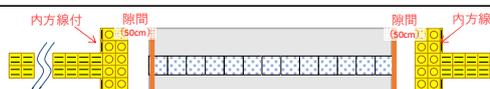
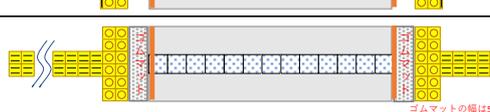
踏切道等における視覚に障害のある方の誘導に関する評価実験

●実験概要

国土技術政策総合研究所の構内（屋外）にて、踏切道における視覚に障害のある方の誘導対策として、踏切手前部4パターン、踏切内5パターンの誘導方法を、視覚に障害のある方及び踏切道等における視覚障害者誘導対策WG委員が通行体験します。視覚に障害のある方から認識性、識別性、直進性について評価等を聴き取り、視覚に障害のある方及びWG委員の話し合いにより、10月に模擬踏切で実施する実験の踏切手前部と踏切内のパターンの組み合わせを設定します。

踏切手前部の実験パターン（案）

— : 遮断かん位置想定※1

①		比較用 <ul style="list-style-type: none"> 標準的な線状ブロックと点状ブロック 標準的なエスコートゾーン
②		点状ブロックとエスコートゾーンの間に隙間あり <ul style="list-style-type: none"> 隙間により歩道と踏切の境を区別しやすくなり、踏切の存在を認識できるか？
③		内方線付の点状ブロック+点状ブロックとエスコートゾーンの間に隙間あり <ul style="list-style-type: none"> 内方線と隙間により歩道と踏切の境を区別しやすくなり、踏切の存在を認識できるか？
④※3		踏切手前にゴムマットあり <ul style="list-style-type: none"> ゴムマットにより歩道と踏切の境を区別しやすくなり、踏切の存在を認識できるか？

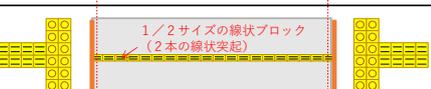
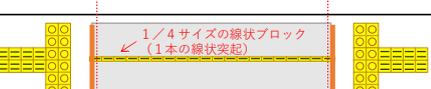
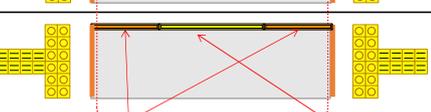
※1：予備実験では遮断かんは設置しない

※2：踏切内の誘導表示は、エスコートゾーンと同様の構造とする。

※3：④のゴムマットは簡易的対応（本来はゴムチップの弾性舗装を想定）。設置事例がなく施工方法等について鉄道事業者と未調整。

踏切内の実験パターン（案）

— : 遮断かん位置想定※2

⑤		比較用 <ul style="list-style-type: none"> 標準的なエスコートゾーン (標準的な線状ブロックと点状ブロック)
⑥		内方線状の誘導ライン+隙間+エスコートゾーン <ul style="list-style-type: none"> 誘導ラインと隙間により歩道や横断歩道と誤認せずに踏切の中にいることを識別しやすくなるか？
⑦		1/2サイズの線状ブロック（2本の線状突起） <ul style="list-style-type: none"> 1/2サイズの線状ブロックにより歩道や横断歩道と誤認せずに踏切の中にいることを識別しやすくなるか？
⑧		1/4サイズの線状ブロック（1本の線状突起） <ul style="list-style-type: none"> 1/4サイズの線状ブロックにより歩道や横断歩道と誤認せずに踏切の中にいることを識別しやすくなるか？
⑨		かまぼこ形の誘導物+台形の突起（線路側の端に設置） <ul style="list-style-type: none"> かまぼこ形の誘導物と台形の突起により歩道や横断歩道と誤認せずに踏切の中にいることを識別しやすくなるか？

かまぼこ形の誘導物
(幅：100mm, 高さ：20mm)

台形の突起※3
(幅：100mm, 高さ：視覚障害者用誘導ブロックと同じ)

※1：予備実験ではレールは設置しない（本実験ではレール直近には誘導表示を設置しない）

※2：予備実験では遮断かんは設置しない

※3：レール間とレール近傍は設置実績のある視覚障害者誘導用ブロックと同じ高さとする

※これまでの「道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会」及び「踏切道等における視覚障害者誘導対策ワーキング・グループ」開催状況については、以下 URL を参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/universal-design/index.html>（懇談会）

<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/working-group/index.html>（ワーキング・グループ）

取材希望者申込先

国土交通省 道路局 企画課 宛

申込先 (E-mail) : fukushima-h87vr★mlit. go. jp
(★を@に変えて送信してください)

取 材 申 込

メールに以下をご記入のうえ、9月20日(水)12:00までにお申し込みください。

件 名 : 【取材希望】踏切道等における視覚障害者誘導対策の評価予備実験

貴社名	
連絡先	電話番号 : メールアドレス :
取材者(代表者) 氏名	(ふりがな) 氏 名
取材者人数	人
車両 (最大1台まで)	あり なし
連絡事項等	

〈留意事項〉

取材にあたっては、主催者の指示に従うとともに、体験される方や運営の妨げにならないようご協力をお願いします。